

行田市日本遺産推進協議会 平成30年度事業一覧

資料3

①情報発信・人材育成事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
1	「足袋・足袋蔵」デジタルプロモーション事業	拡充	平成29年度事業として制作し、本年3月に公開した行田の日本遺産ウェブサイトについて、英語版を制作し、欧米等の海外に対して広く情報を発信する。	550
2	「足袋・足袋蔵」プロモーション事業	新規	構成資産や市内の観光スポット、飲食店など、本市の魅力を広く紹介する日本遺産観光パンフレットを作成し、観光案内所やイベント等で配布する。また、海外に向けた情報発信として、有名ブロガー等を活用したSNSによる情報発信を行う。	5,000
3	郷土博物館における足袋関連の展示の充実	新規	御三階櫓展示室の壁面に、日本遺産構成文化財を紹介するパネルを設置、展示することで、郷土博物館に訪れた観光客へのPRや市民の郷土意識醸成を図る。	500
4	観光ガイド育成事業	拡充	観光客の受入体制を強化するため、観光ガイドを新規に育成するとともに、既存の観光ガイドの知識の向上などの人材育成を行う。	400
5	足袋蔵コーディネーター育成事業	新規	日本遺産の意義とストーリーを理解して語り継ぐ人材や、足袋蔵等の保存・活用、またそれらを活用したまちづくりをアシストしてくれる人材を育成する足袋蔵コーディネーター育成講座を開催する。	1,300
6	藍染・足袋製造実演技術者養成～観光実演・体験指導	拡充	主に昨年度の受講者を対象とした講座やイベントを実施し、足袋づくりの各工程の実演や、藍染体験指導ができるよう、受講者のスキルアップを図る。	1,000
①情報発信・人材育成事業 合計				8,750

②普及啓発事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
7	Japan Expo 出展	新規	パリで開催されるヨーロッパ最大の日本カルチャーの祭典「Japan Expo」でブース出展するとともに、足袋コレを開催しPRする。また、足袋コレの入賞者を行田に招待してアンバサダーに任命し、海外向けのPRを行ってもらおう。	3,700
8	日本遺産サミット出展	継続	富山県高岡市で平成30年9月22日、23日に開催される「日本遺産サミット」に出展し、行田の日本遺産についてのPRを行う。	200
9	行田みらい塾	拡充	日本遺産認定を契機に行田の未来をともに考え、自ら実践する場として、まちづくり、コミュニティづくり、地域ビジネス創出などを学ぶ「行田みらい塾」を本格開催する。	1,800

10	足袋蔵モニターツアー・足袋づくり体験ツアー	拡充	行田の足袋や足袋蔵について、広く周知するとともに、意見集約を図るため、モニターツアー・足袋作り体験ツアーを実施する。なお、H29年度に参加したモニターの意見を踏まえ、在日留学生や服飾関係者等を対象とする。	1,800
11	足袋検定の実施	継続	本年度は、子どもを対象とした行田足袋の歴史に関するクイズを郷土博物館入場者を実施し、全問正解者には「行田足袋博士認定証」を交付する。	350
12	小中学生による足袋に関する絵画コンテスト	新規	子どもたちの郷土愛醸成のため、市内全小中学校（小学3年生以上）を対象として、足袋をテーマにした絵画コンテストを実施し、優秀作品を表彰・展示する。	25
②普及啓発事業 合計				7,875

③調査研究事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
13	足袋蔵等の近代化遺産の詳細調査	継続	日本遺産の構成資産のうち、詳細調査が行われていない足袋蔵等歴史的建築物について、文化財的価値の究明を主目的に詳細調査(建物実測調査)を行う。	350
14	足袋蔵等再活用のマーケティング・リサーチ	拡充	昨年度に引き続いて、足袋蔵等歴史的建築物の所有者に対する意向調査等を実施する。また、昨年度調査で把握された施設整備ニーズの具現化に向けたプランの作成及び日本遺産を活用した中心市街地のまちづくりプランとイメージ図を作成する。	3,000
③調査研究事業 合計				3,350

④公開活用のための整備に係る事業

No.	事業名	区分	概要	予算額(千円)
15	ぱっとわかる案内板設置事業	継続	昨年度に引き続いて、日本遺産ストーリーや構成資産の概要・位置図・写真を掲載した案内・説明板、構成資産の個別説明板、歩行者用案内板を作製・設置する。また、主要な構成資産である足袋蔵巡りを目的に車で市を訪れた観光客が、足袋蔵巡りの拠点であるバスターミナル駐車場を迷うことなく利用できるよう、誘導案内板を主要幹線道路に設置する。	3,300
④公開活用のための整備に係る事業 合計				3,300

①～⑤事業 合計				23,275
----------	--	--	--	--------